

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-4-5
環境保全の推進

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

中小企業課長 美濃 亮

電話番号

0852-22-5883

事務事業の名称	環境対策を行う企業に対する間接融資事務	
目的	(1) 対象	県内の中小企業
	(2) 意図	企業の事業活動に伴う環境への負荷を低減する施設改善に必要な良質の資金を調達できる
事業概要	環境への負荷を低減する施設改善を行う県内企業に長期・低利の資金を調達してもらうため、金融機関に対して、貸付原資の一部を無利子で預託する。	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	環境対策が充実できた企業数	目標値		3.0	3.0	3.0	3.0
	式・定義	融資実績（件数）	取組目標値					件
			実績値	1.0	0.0			
			達成率	-	-	-	-	%
2	指標名		目標値					
	式・定義		取組目標値					
			実績値					
			達成率	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	33,951	108,961
うち一般財源 (千円)	0	0

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度は、制度利用の問い合わせは3件あったが、いずれも融資実行には至らず、融資実績は0件であった。 平成29年4月～5月の融資実績も0件である。 日本銀行によるマイナス金利導入以来、民間金融機関による中小企業向けプロパー融資の貸出金利は低下傾向にある。また、民間金融機関の運用等による収益源が限られてくる中、中小企業向けの融資案件について多少のリスクを負ったプロパー融資推進の動きもある。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

<ul style="list-style-type: none"> 県内民間金融機関の貸出金利の低下傾向を受け、平成29年4月1日より融資利率を0.1%引き下げた（平成28年度に引き続き、2年連続での融資利率引き下げ）

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

<p>①困っている「状況」</p> <ul style="list-style-type: none"> 融資制度に対する問い合わせはあるが、利用にはつながっていない。
<p>②困っている状況が発生している「原因」</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境対策等への投資は後回しになりやすい。
<p>③原因を解消するための「課題」</p> <ul style="list-style-type: none"> 直接的な収益源とはなりにくい、その他のインセンティブを訴求していく必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

<ul style="list-style-type: none"> 直接的な収益向上目的だけでなく、環境対策等への投資によるコスト削減効果や企業の社会的責任向上による副次的効果などについて、企業の省エネ対策等に知見のある関係機関（中央会）などと連携し、PR等を検討する。
